

問質般一

答 駅東西道路アクセス促進協議会、富良野商工会議所からも要望等をいただいている。地域住民や協会病院移転による利便性の確保、中心市街地



駅東西アクセス道路を

病院の開院も5月からとなつてゐる。しかし、協会病院の利用にあたつては、交通利便や駅前再開発の中心市街地の活性化などについて多くの市民から不満の声が多い。

昨年、町内会、市内各団体や商工会議所、富良野農協、富良野觀光協會などの多くの賛同のもとに建設期成会が設立され、市長に対し陳情、要望がなされている。市長の考えを伺う。

活用した観光利便核施設についても同様に中止と決断した。観光利便核機能である観光協会の観光インフォメーションはJR富良野駅舎の賃貸借

中心市街地活性化事業の完成に伴い、富良野駅舎の改築構想などを取り入れ、初期の目的に向かった観光利便施設などの有効活用に取り組むべきと考えるが、市長の考えを伺う。

しかし、平成14年10月議員協議会において橋上駅建設の凍結、平成15年6月駅橋上化の中止、観光交流各施設の見直し総事業費60億円を55億円

るため、その計画が中核をなすものとして進められていたのである。

中心市街地活性化計画の中で
橋上駅の建設や駅舎を観光利
便施設としての高度利用を図

の活性化の視点からも重要と認識しており、生活や経済環境の確保からも駅東西間アクセス道路を推進していきたい

病等、多様化する医療の対応はますます望まれるところであります。先の代表質問の中で、市長は、都市と地方の地域間格差の拡大は感じられるとの答弁であった。市内においては、決してそのような現象が起らぬよう強く望むもの

問 本年5月1日開院予定の
地域センター病院は、富良野
圏域二次医療機関の中核医療
を担う機関として、市民や地
域住民の期待も大変大きいも
のと思われる。高齢化の進行
や子供たちにも及ぶ生活習慣

協会病院移転に伴う
公共交通運行路線の
整備を

千葉健一

により引き続き拠点が確保されることから、施設として設置できなくとも富良野観光の窗口機能として確保されることが、今後も利便核機能として充実を図ることにより、十分対応ができるものと判断をしている。

中心街活性化センターの
利用促進と活用計画は



市内を循環するふらのバス

麓郷線は、駅等を経由、御料
線は北の峰から駅を経由し協
会病院到着。麻町線は東中學
校、協会病院、新設錦町、ふ
らの西病院、停留所を経由し
富良野駅発着となる。

れる。事業推進には批判もあつたよう聞くが、開業する以上、有効活用をしてもらうことが大切と思う。また、事業の推進に携わった多くの関係者の苦労も、市民の有効利用によって報われるものと思う。指定管理運営となつてはいるが、市としての利用促進と、活用計画について伺う。

ため、当該施設に関わる事業者や一般市民、団体等の利用者による運営協議会設立準備を進めている。当健康増進施設は、まちづくり株式会社と関係部局の連携で利用増大に努める。交通弱者等の利便性から中心市街地に完成をした。水泳授業は教育バス、老人クラブ、福祉団体は福祉バスで対応。個人利用の交通手段の確保については、指定管理料との兼ね合いから、今後の検討課題と認識する。

A white bus with "LAUENDER" written on its side, parked at a bus stop. The text below the image reads "市内を循環するふらのバス" (Circular bus within the city).

である。そこで伺う。市内循環バス路線をどのように考えるか。

答 市内路線バスは、公共交通機関として7路線が運行されている。西達布、老節布、麓郷線は、駅等を経由、御料線は北の峰から駅を経由し協会病院到着。麻町線は東中学校、協会病院、新設錦町、ふらの西病院、停留所を経由し富良野駅発着となる。

中心街活性化センターの利用促進と活用計画は

問 4月末オープン予定のこと、施設見学会にも多くの市民も訪れ関心も高いと思わ

である。そこで伺う。市内循環バス路線をどのように考えるか。

れる。事業推進には批判もあつたよう聞くが、開業する以上、有効活用をしてもらうことが大切と思う。また、事業の推進に携わった多くの関係者の苦労も、市民の有効利用によって報われるものと思う。指定管理運営となつてはいるが、市としての利用促進と、活用計画について伺う。